

<一般社団法人福島県法人会連合会会長賞>

「税金」の大切さ

いわき市立泉中学校

1年 牧野 陸

僕は今まで税には全く興味が無かった。ただ、住民税、固定資産税、消費税等の名前は知っているものの、その意味が分からなかった。最新のニュースでは、「いつ消費税が10%に上がるのか」という話題が上がっていた。物が値上がりするのは困ることだ。しかし税金が何に使われているのか僕は知りたくなった。

以前、僕は母に「税金って、なんで払わなければいけないの？」と聞いたとき、「日本の皆が幸せに暮らせるため」と言っていた。僕は当時、どういう意味が分からなかった。しかし今なら分かる。

僕の祖母は、介護施設に行っている。その施設にも、税金が使われていた。家では入れないお風呂に気持ちよく入ってくる。目の前で祖母が楽しそうに介護施設の出来事を話してくれる。その姿を見ると、税金がどれだけ大事なもののなのか、分かる気がする。さらに僕達が授業で使われている教科書は、国から教育費として無料で支給されている物なのだ。僕は福島に住んでいるので、あの東日本大震災を体験した。自宅には津波は来なかったが何もかもが流された港を見た。だが、今はどうだろう。道路や学校など、新しい町づくりが進んでいるではないか。補助金や仮設住宅。普段通りの生活ができるように、戻ってきた。また、僕達が給食で食べている食材の放射性物質の検査など、これら全てに税金が使われていたのだ。僕達の身近な生活は、税金で支えられていた。

ならば税が無くなったのなら、税金を払わなくなったのならどうなるのか。学校に行くのにも、教科書を買うのにも大きなお金が必要になり、お金がある家の子供しか学校に行けなくなる。その他、ゴミの処理も税金。税金が無ければ町中ゴミだらけになってしまう。

消防署、警察署などの費用も税金から支払われている。それが無くなると、お金を払わなければ動いてくれなくなる。税金が無い世の中になったら、お金がある人しか、安全に暮らせなくなる。税金は大切なんだなと思った。

このように、税金は形あるものを作るだけでなく、人々の交流、経験や生活、形ないものなどいろいろな面で使われている。人々は物だけあっても希望や喜びが無ければ笑顔にはなれない。しかし税金は皆が笑顔で暮らしていけるように使うことが大切だ。

僕は税金に対して興味を持たずにいたが、もっと関心を持っていきたいと思った。そして、大切で重要な役割を持っている「税金」を「みんなの笑顔と安心の暮らし」が続けられるように使って欲しいと思った。